

「県民協働による未利用材の搬出促進事業」実施団体の事例

ふりがな 団体名	木の駅上石津実行委員会		設立年月	平成23年4月	
構成員数	29名				
構成員数	30代以下:3名、40~50代:9名、60~70代:12名、80代以上:5名				
設立目的	大垣市上石津町の健全な山林保全と、森林資源および人的資源を活用した地域活性化を図るために、必要な事業を行うことを目的とする。				
団体沿革	平成23年4月 任意団体として設立、現在に至る				
実績					
年度	R2	R3	R4	R5	R6
過去5か年の 搬出量(t)	178.5	202.7	184.2	185.3	181.7
搬出材の 主な用途	公共施設の薪ボイラー、薪、チップ				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・登録した29名の会員が、自分の山や借り受けた対象山林から間伐伐採した木材を木の駅ステーションに出荷。 ・出荷された木材は直径と長さを計測し、出荷伝票に記入、提出。出荷量に応じて地域通貨(里山券)で木材代を支払う。 ・交換業務は事務局と地域のガソリンスタンドが担い、地域にある15の登録店で使用できる。 ・出荷された材は、会員の手で薪加工し、販売。残材は、チップ業者に売却し財源とする。 ・薪の販売先は、公共施設の薪ボイラー、地元の薪窯ピザ、キャンプ場、個人の薪ストーブ、焼き物等に利用している。 				
効果	<ul style="list-style-type: none"> ・30代から80代の会員が和気あいあいと山仕事を通じて交流している。 ・山仕事や、道具の使い方の技術を、伝授したり、スマホ操作を教わったり、懇親会での交流も楽しみになっている。少しの小遣いがもらえるので、やりがいもある。 ・地域の商店を巻き込み、信頼関係もでき売り上げ増にもなっている。上石津町内という、小さな地域だが、地域内循環ができている。 ・地元小学校のSDGsの学習に木の駅上石津実行委員会の取り組みも何度も紹介している。 				

安全講習	毎年、会員向けチェーンソー安全、目立て講習を開催
地域貢献	<p>地域経済の活性化に対する取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間伐した材の量、軽トラ2車(約1m³)に対し、地域通貨(里山券)を5里山(5,000円)発行する。 ・上石津町内の15店舗の登録店のみで使用し、飲食、小売り、ガソリンスタンド、理髪、などの費用に充てる。 ・地域通貨での懇親会も開催し、町外の買い物も、里山券があるから、町内で使おうという購買意欲など、地域経済にも寄与している。
【活動状況】	【活動状況】
	
【チェーンソー安全講習会】	【地域通貨(里山券)】
	